

かわらばた すまし屋 ハウス

2024-7-8
vol.
301

発行
有限会社
大和久建築
TEL 0475 (22) 4148
茂原市高師 4 7 6

優れたパフォーマンス発揮には好環境であることも条件。以前は暑さも和らぐ10月開催から、いつの頃からか猛暑のこの時期へと移行。東京とは打って変わりパリは地域柄涼し気な様子で一安心。選手の身体を考えた開催時期優先を願いたいものです。

☆今月の一言【**前程万里**】前途に大きな可能性が広がっていること。AIを駆使したトレーニング法やプレーの分析力、加えてスポーツ用具の進化で、これまでは想像もしなかった大記録が生み出されるかもしれません。選手の活躍に期待！

たてもの散歩道

祈願や心の拠り所を神仏に委ねることは世界共通の慣習。お参りはついつい有名で大規模な神社仏閣に向かいがちですが、氏神様や檀家のお寺にしっかり目を向けるのも大切なこと。意外な由緒を知ることができるかもしれません。

2020年9月、当家が檀家である茂原市木崎『東泉寺』様より、いすみ市岬町岩熊所在の『法華寺（別称：法華滅罪之寺）』阿弥陀堂（旧本堂）の手摺設置工事を依頼された際、堂内に文化財が保存されていると知り、その由緒に触れる機会がありました。

境内向って左に阿弥陀堂、右に現本堂を構える『八葉山 蓮華院 法華寺』。岬町岩熊には白鳳時代（7世紀後半から8世紀初期）に遡る寺院跡があり、ほど近くにあった『法興寺（ほっこうじ）』と共に、『法華寺』は古代寺院の後裔に当たるとは考えられています。創建は嘉祥2年（849年）で、当初（法華寺旧寺跡）は岩熊区に隣接する榎沢区に建立のようです。

阿弥陀堂参道には、堂内の所蔵物千葉県指定有形文化財『木造宝冠阿弥陀如来坐像』、現在総南博物館に展示中のいすみ市指定有形文化財『鑄銅鱷口（ちゅうどうわにくち）』の説明看板が立てられており、その由緒や謂れを知ることができます。



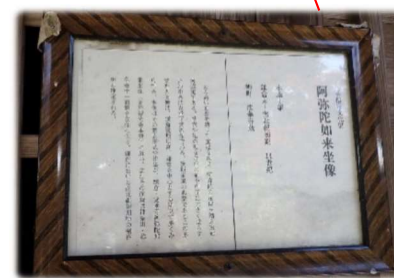
阿弥陀如来像の概略が記された立て看板 いすみ市教育委員会設置

拝観希望者があるということで、その前に安全対策として正面階段と回廊に手摺設置工事完了。

実は当社では堂内は未拝観のため、東泉寺住職様よりお借りしました資料にて阿弥陀如来像他のご紹介をさせていただきます。右頁へ



木造宝冠阿弥陀如来坐像
が所蔵されている阿弥陀堂



阿弥陀如来坐像の解説表示板



手前(左)が阿弥陀如来、奥(右)が鑄銅鱷口の説明立て看板

木造宝冠阿弥陀如来坐像（千葉県指定有形文化財）

松材の寄木造。表面は黒い漆地の上にかわで溶いた金粉を塗った金泥仕上げ。衣に切金をおき、頭上に五仏宝冠を戴く。像高 144 cm。

一般的な如来様にみられる、螺髪（パンチパーマ風）頭に、一枚の布で出来た衲衣という簡単な衣類を纏うだけの質素な容姿とは異なり、髪を高く優美に結う、法相華文を透かし彫りにした豪華な冠を被っている、立派な王衣の様な衣を纏っている等、派手目さが特徴で、宝冠阿弥陀と呼ばれる珍しい像。真言宗と天台宗の二系統があり、いずれも密教の影響を受けて作られたようです。本如来は鎌倉後期14世紀前半の作とみられます。（1,300年頃）



木造宝冠阿弥陀如来坐像 堂内

木造金剛力士(仁王)立像（いすみ市指定有形文化財）

阿弥陀堂内所蔵物の下縦長写真2枚。吽形（うぎょう）と阿形（あぎょう）共に木造(杉材)で彫り寄せ作り。鎌倉時代中頃(1260年頃)の作とみられる。

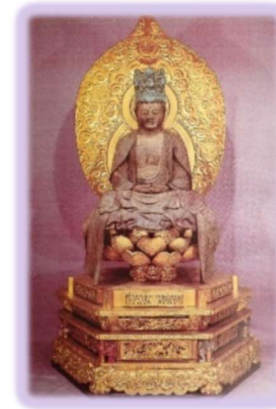


吽形像(像高 281.1 cm) 阿形像(像高 274.9 cm)

鑄銅鱷口（いすみ市指定有形文化財）

吊り手が一つしかない珍しい形のもので、線の鑄出しはくっきりし模様は簡潔。縦 26 cm、横 22 cm、厚さ 3.6 cm。時代は天文9年(1540年)。

通常是非公開です。拝観のお問い合わせは『東泉寺』へ。 0475(23)1682



上如来全体写真



鑄銅鱷口

ざつがくの庭

熱中症予防薬などというものは聞いたことがないので恐らくない？しっかり対策を心掛け、暑さに負けない体力づくりが肝要。

間抜けなことをした時よく「あんぼんたん！」と発したりしますが、1763年に大流行したというこの言葉は薬の名が語源というのが有力。「陀羅助」というとても緩やかな効き目の薬があり、「だらすけ」には元々「愚か者」という意味があった。そこで、「阿呆」と薬の名前を合わせて、万能薬として重宝された伊勢の「萬金丹」風に「安本丹」と名付けた。富山には「越中富山の反魂丹、鼻くそ丸めて萬金丹、それを呑む奴アンポンタン」という歌があるそうです。

答え 1. ひとしお 2. へりくだる 3. ならむ 4. しきたり 5. じゃれる

読めますか？

- 一入
 - 謙る
 - 睨む
 - 為来り
 - 戯れる
- ※たわむれる以外の読み方